

本朝列仙傳

三

特別
35
5999
3



25
5999
3



本朝列仙傳卷之三

藤太主

源太主

元亨釋書

大和ノ州吉野郡藤太主源太主トイフ仙人アリ。
 五穀ヲタチテ修行薰煉シ。祕密ノ呪文ヲタモチテ。
 仙ヲ得タリ。常ニ烏帽子ヲ著シ布衣ヲキタリ。其
 比淨藏貴所トイヘル世ニカクナキ行法ノ人ア
 リケルガ。或時和州ニイタリテ。吉野川ヲ渡ラシ
 トシケルトキ。洪水漲リテ。渡レ舟ナカリケレバ
 淨藏惘然トシテ杖ヲヒイテ。河ノホトリニ徘徊
 シケルニ忽イツチトモナク。一人飛來リテ云ヤウ

ハ我等君ガタメニ渡シタテツラシトテ。藤太主呪
 文ヲ唱レバ。忽神人キタリテ。大木ヲキリテ淨藏
 ヲノセケリ。源太主又神人ヲ呼テ。大木ヲ引セ。
 今カフノ岸ヘゾ渡テケリ。其時淨藏問レケルハ
 君ハ誰人ニテカ。ゾハシテカク我ヲ渡テ。タビケル
 ノトイシカバ。二人答テ云ク。我ハ是吉野山ニ住
 ル仙人藤太主。源太主トイフ者ナリ。君ガ行
 徳ヲ感シテ。コトサラニ來リテ。渡シタテツル
 ト。イハハリテ。飛サリシトナリ



睿山僧

鴨長明發心集

淨藏貴所アルトキ睿山ニテ飛鉢ノ法ヲ行ヒテ
 鉢ヲトバシテ施物ヲコヒウケルアル日鉢ナニモナ
 クシテ。今チレクカヘリケルガソレヨリ三日ツケテ
 カクアリケレバ淨藏不思議ニ思ヒ道ノアヒクニ
 イカナルコトナルヤラシトテ。四日目ニイタリテ我
 鉢ノユクカタノ峯ニホリテ。是ヲ窺見ケル處ニ我
 鉢トヲホシテ。京ノ方ヨリ飛タルヲ北ノ方ヨリ
 又別ノ鉢飛來リテ。淨藏ノ鉢ニ入ケル物ヲウツシ
 トリテ。本ノカタヘ飛歸ル。是ヲミテ最ヤスカラスヲ

ニテアリ。ソノモヤ我鉢ノ物ヲ誰アリテカ。ウツシト
ルワザラセン。此事イカサ仔細アルモノ。ニスワザ
ナラズイテヤ出處ヲ見トメシトモヒ我手ニ鉢
ヲ加持シテ。ソレラレルベシテ。ハルク北ヲサシテ。雲霧
ヲレノギ。分入ケル。今ハハヤニ三百丁モ來ヌラント。ヲ
モフホドニアル谷ハサマノ松風ヒギキ。澗水々々ヘテ。イ
カニモイサギヨキ處ニ。一間ハカリナル草ノ菴アリ。
庭ニ六青苔アツラシテ。人跡モナク。林ニ六縁陰フ
カフシテ。鳥音モマレナルアリサマゲニ塵埃ヲハナ
シタル景色ナリ。淨藏チカツキヨリテ。菴内ヲ見

テアレバ。年高僧ノ瘦衰タルガ。夕ヒトリ居テ。勝
息ニヨリカリツ。法華經ヲ讀誦セリ。イカサマ
コレ只人ニアラシ定テ此人ノ仕業ナラント。思
ヒイケルトコロニ。僧淨藏ヲ見テ。何處ヨリイカ
ニシテカ。來リ給ヘル人ゾ。此地ハ人跡々々タルトコ
ロナルニ最不思議ナリトイ、ケル。淨藏云ク。我
ハ比叡山ニ住ヘル行者ナリ。レカルニ月日ヲ送ハ
カリコトナクテ。此程鉢ヲトバシテ。ヲコナヒラシ
ケル處ニ昨日今日カヤツノアヤシキコトナアリケ
レバ。今日ウカヒ見テ。コニキタリタリトイフ。僧

ノ云ヤウ。我ハ此事コトシラザレ也。イトモト、ガサルコ
トカナ。尋タシミシトテ。潛ヒソカニ人ヲ呼ヨビケルニ。スナハ千菴イホリ
ノ後ウレヨリ。イラヘテキタル人ヲ見レバ。年十四五六
カリナル。イツクシキ童子ドウジノ奇麗キレイナル唐装束カラシヤウゾクシ
タルナリ。僧ソウコレヲイサメテ云ヤウハ。此客僧キヤクソウノ仰ヨウラ
ルコトハ。汝ガレワザカイト道ミチナラヌコトナリ。今
ヨリハガ、ルワザラ。ナサレトイケレバ。童子ドウジ顔カホウ
チアカヌテ。モノモイハテ。菴ソウノウレロイリケリ。又
僧ソウノ云ヤウ。今仰ヨウラレレコト尋タシケレバ。彼童子カノトウジガレ
ワザナリ。我カタクイマレメツレバ。今ヨリハヨモサ

ヤウワザハ。ツカ、ツラ、レトイフ。淨藏ソウゾウ不思議フシギノ
思ヲモヒヲナレテ。カヘリサラシトスル時。僧又イヘルハ。
ハルワケクト分キタ来リタ。ヒテ。疲給ツカレタマフラシ。レハレ待給マチタマ
ヘ饗應キヤウオウツカ、ツラシトテ。人ヲ呼ヨビヌレバ。又同様ソウジヤウナ
ル童子モウナシイラヘテ出イデタリ。カク遠處トウキョトコロヨリ來給キタリタマヘル
ニレカルヘカラシ物モノイラセヨトアリケレバ。童子ドウジウ
ケカヒ。ラクニイリ。瑠璃ルリノ皿サラ。唐梨カラナシノムキタルヲ。
四イレテ。檜扇ヒアシキノ上ウヘニナラヘ持出モケイテタリ。僧淨藏ソウゾウ
ニス、ムレバ。一トリテクヒケルニ。其味ソノアチハヒムニキノ甘コト云
ハカリナレ。然シカレニ身モス。ヤカニカモツキテ。ヲホ

へケリ。サテ本ノ道^モ道^{ミチ}へイテ、雲^{クモ}ヲ分^{ワケ}谷^{タニ}ヲコヘテ。
 カルホドニ道モハルカニタレバ、其處^{ソノトコロ}イツタトモ
 覺^{オぼ}サリシ。イカサマ冬^{フユ}人トハ見^ミヘサリケリ。讀^{トク}
 誦^{ジユ}仙人ナンドノ類^{タビ}ニマト。時^{トキ}人ニ語^{カタ}レケルトゾ
 日本ニ鉢^{ハチ}ヲ飛^{トバ}シテ。施^{ホトコシ}ヲウケラレシ人ハ。法華
 山^{ホフタウ}ノ法道仙人。越智山^{ヲチヤマ}ノ臥行者。山崎寺^{ヤマザキジ}ノ慈
 信^{ニシジマ}。淨藏貴所^{ジヤウキソ}。コノ叡山^{エイサン}ノ僧^{ソウ}ノ童子^{ドウジ}トナリ。コ
 ノ外イマダカシガヘズ



仲筭童

元亨釋書 西行撰集抄
鴨長明發心集 神社考

仲筭ハイツレ處ノ人ト云コトヲレラス空晴法師
或時興福寺ノ北門ヲトヲリレ獨ノ小兒ニアヘリ。
年六七歳ハカリ其髮ハナハタ赤レテ容儀モツト
モ異相アリ。空晴ソノサマタ人ニアラサルヲ見テ。
何處ヨリカ來リツルヤト問小兒ノ云ク我ハイツ
ク者トイフコトモナク住處モナシ又父母モナシ。
只獨コニアソビ來レリトイフ。空晴タツサヘツ
レテ房カヘリハレメテ學文サセケルニソノ智惠
聰明ニシテ一ヲ聞テ八十ヲレリ十ヲ聞テ八百

ヲ知ヤ成人スルニシタガヒテ内典外典ニ通達セ
リ。スナハチ其名ヲ仲筭トイヘリ。モツトモ辯ヲ
モツテ法問論義二名ヲ得タリ。コヲモツテ南
都ノ學從コトククミナ。大才博智ナリトシテ殊
ニ重ジ尊ヘリ。仲筭モトヨリ其心名聞利達ヲキ
ラヒケレバ僧官ヲモコソマサリケリ。天子ノ招提度
々ニヲヨヘトモカタク辨シテヲモカス南都ノ松室
ニ隱居タフ。其時美麗ナル童子一人アリ。本ハ
叡山ノ楞嚴院ニ居タリシガ後松室ニキタリテ仲
筭ニツカヘテ寵愛モツトモフカシ然ニコノ童子常ニ

法華經ヲ讀誦セリ。仲筭イヘルハヲサナキ時ハ學
文ヲコソ勤ムベキニコレヲ指置。專讀誦ヲナスコト
イマダヲソキニアラズト。理ヲツクシテ諫制シケレハ
童子ナラ止スレテ。仲筭見ケル處ニテハ學文ヲ
ナス體ナレドモヤモスレバ忍々ニ讀誦ヲコダラサ
リケリ。イカニモ其志ヲカク見ヘケレバ。千ニハ誰モ制
セスサテコノ兒十四五バカリニナリテ。何地トモナク
失サリヌ仲筭大ニ驚テ。イタラヌクモナク。尋モトム
レドモ更ニ行衛モナシ。定テ物ノ靈ナシトニトラレ
タルナラシト。イアヘリ。童子ヒソカニ深山ニイリ。法

華讀誦ヤ台トナシ。斯テ一月バカリ物モクハサレ
氏飢スレテ。終ニ仙人トナリ。羽衣ヲ著シテ。飛行
自在ノ身トナレリ。其後仲筭ノ房ニアリケル。法
師薪ヲ伐ニ山深イリケルニ樹ノ上ニテ經ヨメル
聲ノキコヘケレバ。アヤレクテ。近クヨリテツラク是ヲ
見レバスキツルコロ失ラレシ見ナリ。法師イヘルハイカ
ニカクテハラハシメス。君失サセタミヒシヨリ。師ノ御
歎アサカラス。シメスニ早クカハラセ給ヘトイフ。童子
ノ云クサレバソノコトナリ。カク此身ニナリシゴトヲ
モ師ニキカセタテマツラシト思ヘトモ。モハヤ今ハ人

間トヘタテシ。身トナリ。タヨリナキニヨリ。師ノ房
ニモチカツキエズ。嬉クモ今幸ニ汝ニアヘリ。急ギ房
ニカヘリ。コレニテアヒタテマツランヨシ。師ニ告知スベシ。
我ハ是ニテ待ナリトイシカハ。法師ハトリアヘズ。
走歸テ。コソヨシカタリケル。仲筭ハ大ニ喜ビアハテ
ツトヒテ。跣足ニナリテ。彼處ヘ行見レハ。童子カタ
リテ云ヤウ。我法華讀誦ノ功カニヨリテ。既ニ仙
人ニミカリナリテ。世ノ人トヘタリテ。後ハ師ノ便
ヲモ聞コトナク。我モ又師ノ房ニチカツクコトナリ
カタレツレライカニトマラスニ。大方人間ノスムアタリ

ハクサクケガラハシクテ。絶ヘタラ子ハ思ヒナカラ房
ニイタリテ。アヒタテマツルコトナリ。カタシ。今日幸ニ
アヒタテマツルコトハ。師弟ノ縁イマダ絶サルガユヘナ
リト。俱ニ涙ヲ落ツ。良久シク物語アリテ。ステニ
カヘラントスルトキ云ヤウ。毎年三月十八日近江ノ
竹生嶋ニテ。仙人アツマリテ。音楽ノ會ヲモヨフ
サルコトアリ。我モ又此會ニアツカリ。琵琶ノ役
ヲイタシツルガ。コレナキユヘニアナタコナタト。尋求ル
ナリ。幸ニ師ノ持給トコロノ琵琶ヲ。シバラクカシタマ
ハシヤトイフ。仲筭ノ云ク。コレ容易ノコトナリ。何處



ヘカ持來リ。ワタスヘシヤト。童子即コニテ。カリタ
テツラシト云終リテ。飛去ケリ。仲筭別ヲ惜ミケ
レ。厄ガナス。涙ト共ニアトテ。ハルカニ見送リテ。房
ヘカヘリ。イソギ琵琶ヲ持行テ見レバ。ツ時ハ童子
モキタラサリケレ。冬樹ノ下ニシキテ。ゾカヘリケ
ル。仲筭ナラモ童子ノコトヲアコガレテ。三月十七日
ニ所生嶋へ詣テ。十八日ノ曉ニ舟ニ登サシ。瀬々丸
湖水ノ上ニウカシテ。四方ヲハルカニ見渡セ。ゲニ神
仙ノ跡ヲタレシ。三嶋十洲ニモゾトルマシキト見ヘテ。
エモイハレザル景色ナリ。シカル折節雲中ニ歎ナル

音楽ノ聲ヒギキ。春風ニシタガヒテ。最殊勝ナルコト。イ
フハカリナク。覺テ。隨喜ノ涙袂ヲウルホシ。聞居タ
ル處ニマウヤク幽ニナリテ。樂ノ音モヤミニケリ。ビ
ラクアリテ。舟ノ中ヘナニトハ知ス物ヲチケルヲ
トシタルヲ見レバ。彼カシタル琵琶ナリ。即ツレヲ
トリテ見ニ異香薰スルコト。蘭麝ノ香モ是ニハ
イカテ。勝ルベキ。若此香ヲフル。モハ日ヲヘテウセ
ザリシ。仲筭コレヲ我物ニセシコトハ。憚リアリト
テ。即所生嶋ノ神殿ニ納ラレケル。其後仲筭ハ人
王六十三代冷泉院安和二年熊野山那智ノ瀑

下ニテ般若心經ヲ講談シタマハ忽千手千眼
ノ大悲ノ像出現シ給ヘリ。講談終リテ巖ノ上ニ
飛上リサツテ終ニラタヒ見ヘズトナリ。アルハ
又イフ。慈恩寺ノ山ニ入テ後又イテズ。冬ハキ
タルトコロ草鞋ヲ残シケルトナリ
漢武内傳ニ云ク西王母イヘル久不在人間
人間實爲臭濁カノ童子ノ大方人間ノ住ア
タリハクサクケガラシクテト。云コトモケニ此語
ニテ思合セタリ。人々皆汚濁ノ中ニ交リテ其
汚濁ヲキラハズ。汚濁ニ和合スレバナリ。若此

汚濁ヲハナレバ誰カ又汚濁ヲコノシヤ。家語ニ
孔子ノ白與不善人居如入鮑魚之肆久而
不聞其臭亦與之化矣善惡トモニ常ニナレ
シタシムトコロニ心ヲツケテ分別ズベキコトナリ。
又童子ノイヘル。毎年三月十八日竹生嶋ニテ。
仙人ノ會アリト。此日ハ大唐ニモ潤州ノ勾曲
山ト云フ山ニテ。仙會アリ。コレヲ勾曲ノ會ト
云フナリト。アル詩ノ註ニ見ヘタリ

大峯比丘

元亨釋書

昔義睿トイヘル。沓門常ニ靈地名山ニマフテレニ。
 或時熊野山ヨリ。大峯二分入ソレヨリ金峰山ニ
 マフテントセシトキ。路ニ迷ヒテ。山谷中ヲ十日
 アマリ。嶺ニホリ。谷ニクダリテ。迷ヒアリキ
 シ。或溪ノホトリニ林ノアリケルヲ見テ。チカツ
 キヨレバ。其中ニイカニモ奇麗ナル寺アリ。其庭ニ
 八白細沙ヲシキタリ。目ナレヌ草花咲亂アル。六
 木果艸實生シケレリ。義睿ヨロコビ見テ。不思議
 議ノ思ヒヲナシ。一間ノ房ノ内ヲ見レバ。年ノ比二十



バカリニモ成ナシト。ヲモハシキ比丘威儀端正シ
テ。法華經ヲ讀誦セリ。其音妙ニシテ。アタカモ琴
ヲシラフル似タリ。一卷ヨミテハリテ。經案ニヲケ
ハ。其經ヒトリヲトリアガリテ。空中ニテ。軸ヨリ
卷テ。帶ヲスヒ。又モトノ經案ノ上ニナラリケリ。
乃至八卷ミナカクゴトクナリ。義睿イヨク奇
異ノヲモヒヲナス。比丘經ヲ讀ヲハリ。禮拜シテ堂
ヲイデ。義睿ヲ見テ。ヲトロキイフヤウハ。コノ地ハ
是鳥タニモカヨハズ。マシテ人倫イキタルベキ處ニア
ラザルニ僧ハナニトシテカハ。コニ來レルヤト。義睿

路ニヨヒテ。ヲモハズモ。此靈場ニイレリトイフ。
比丘義睿ヲイザナヒ。房ニイレバ。俄ニイツチト
モナク。威儀タシキ。童子イロクノ食物ヲサ、
ケキタリテ。義睿ニソナヘリ。ウケテコレヲ食ス
ルニ。世ニタクヒナキアチハヒナリ。ソノホカ種々ノ
希有ナルコト共ラミル。義睿問ヤウハ。比丘ハ誰
人ニテカ。マシクテ。コニ住給フ。又幾年ニカ。ヲヨヒタニ
フヤ。比丘ノ云ク。我ハモト。廬山東塔ノ三昧座主ノ
弟子ナリシガ。若年ニシテ山ヲイテ。方々ニテ修
行薰煉シテ。後コノ地ニ住スルコト。ステ八十年ナ

リトカタル。義睿不審シテ云ク。サキニ仰セラレシ
ハ此地人倫ノカヨラベキコト。ナリカタレトタマヘ
トモ。二三ノ童子見ヘタリ。是妄語ライタマラ
ニアラスヤ。比丘ノ云ク。法華經ヲ見スヤ。夫コノ經ヲ
受持讀誦スルモノニ。天ノ諸ノ童子キタリテ。給
仕ラナスベシト。ゴレアニ妄語ナランヤ。義睿又トフ。比
丘ハ老年ナリトタマラフガ。顔色殊ニワカク見ヘタマ
フハイカニ。比丘ノ云ク。經ニイハク。病即消滅不老不死
ト。又コレイツハレルヤ。疾々カヘリサルベシトイフ。義睿
云ヤウ。日モステニ西山ニ落。又方角ヲモサラニ。ワキ

一ヘズ。其上此間路ニヨヒテ。身心トモニツカレヌレ
バ。此宵ハコニトメサセ給ヒテ。憐ラタレタマヘト。比
丘ノ云ク。我汝ヲキラフニアラス。此地閑靜清潔ニ
シテ。多言語ノ人ノスメルトコロニアラス。コノユヘヲモツ
テ。カヘリタマヘトイフ。若今宵トマリナシト思ハハ。
身體ウゴカス。口言語ヲヤメ。身心トモニ寂靜ニシテ。
默然トシテ坐スベシトイフ。義睿ラシヘノ通マモリ
居ケルニ。初夜ノ時分ニイタリテ。異形異類ノ夜叉
鬼神。其外サマクノ鳥獸。其數ラシラスキタリテ。或
ハ香花ヲモチ。或ハ木果州ノ實。百味ノ飲食ヲサ、

ケテ。比丘ニタテツリ。禮拜供養シテ。次第々々
ナニナニ列坐タリ。其中ヨリ云ヤウ。アラフキヤ。人間ノ臭
ソノナカアリト。又ナニトテ人間ノコイトコロニキタルコトアラ
シメゲンシヤト。イフモアリ。其説トリクナリ。其時ニ比丘法
ソノセツ華經讀誦セラレシカハ坐中異類ノモノドモ耳ヲカ
サチタナリタフケテ。聽聞ス。終夜讀誦アリテ。ヤウヤク曙ニチ
チヤウモシリレ時皆コトクク。作禮シテ。チリクニツカヘリケル。
ヨモスガラドク義睿問。今宵異形ノ者ハイカナル者ニテアリケシ。
サライ又イツクヨリカキタルラシ。未曾有ノコトナリ
モトイハハ。比丘ノ云ク。經ニイハユル。若人空閑ノトコロ
モレヒトクウカン

ニアリテ。此經ヲ受持讀誦セハ我天龍王夜又鬼
シトウ神等ヲツカハシテ。タメニ聽聞ノ衆中トナサント。説
チヤウモシ玉ヘリト。義睿イヨクアリカ多ク思ヒ。イツマデモ止
レワチタリ多ク思ヒシカドモ。サスカ凡心ノイマダツキサル
ホシシニヤ。歸ルコ、ロレキリニモヨフサルレバ人里ヘ歸ル
ヒトサトベキ方角ヲタツヌルニ。比丘ノイハク。イトコロヤスク。
ハツカクヲモヒタマヘ我歸路ヲ指南スベシト。前ニ在ケル
カメ瓶ヲユビサシテ。コノ行跡ニシタカフテ。カヘリ給ヘト
カノニ分イハハ。時ニ瓶俄ニヒトリ飛アガリテ。人ノアリク
トヒゴトク。サキヘス。シテ。ユキケルヲ。義睿アトヲ追テ。



行程ニ二時バカリモアリクト覺ヘテスナハチ金
 峰山ノ峰ニツキタリシガソレヨリ下ヲ見ヲロセハ
 人里ナリ。ソコニイタルトヒトシク瓶ハタチマチ虚
 空アガリテ飛サリヌ。義睿ヨロコビ麓ニラリ。人
 ニアツテ。此事始終ヲカタリケレハ聞人感ヲ催
 セリ

山谷比丘

元亨釋書

延曆寺ノ座主餘慶トイヘル僧アル深山ニイリ
 テ。ハルカニ鐘ノ聲シケルヲ聞テ。聲ニシタカツテ。即ツ
 ノ處ニ尋行テ見レバ。イカニモ幽ニイトシツカナル
 禪房アリ。其内ヲ見ルニ。齒二十計ノ比丘一人ア
 ツテ。法華經ヲ讀誦セリ。餘慶庭ノカタハラニ立ヨ
 リテ。居タリシカ。比丘コレヲ見テ。經ヲヤメ房ヲ出
 テ。イサナヒ堂ニホリテ。坐ニナララシム。餘慶先比
 丘ノ經ヲヨミ。殘タルヲ讀スハリタマヘトイフ。比丘
 即讀誦シテ。安樂行品ノ天諸童子以爲給仕ト

イフ。文句ノ處ニ冬ツテ。天ヨリタチマチイツクキ
 二人ノ童子クタル。ヒトリハ供物ヲサケ。ヒトリ
 ハ天蓋ヲモチキタル。比丘供物ヲ分テ。二トナシ
 一分ハ比丘ミツカラ食シ。又一分ハ餘慶ニアタヘ
 ケリ。ウケテコレヲ服スルニ其味ハナハタ美ニシテ。世
 ニタクモナキ物トモナリ。餘慶ウヘリテ。コノコト
 世ニ傳フトイヘリ



三保仙女附多漁人多

日本風土記
神社考

三保ノ松原ハ駿河ノ州有度ノ郡ニテリ。有度濱ノ
 北ニ富士山天ヲウカツテ。獨立セリ。南ニ六湫々々
 ル。滄海ノ波漾。西ニ六嶽々々タル久能山聳。前ニハ
 清見カ關田子ノ浦共ニ好景ヲツラ子。三保ノ松林
 鬱々トシテ。翠ヲ疊コト。幾千萬株ト云事ヲシ
 ラス。マコトニ天下ノ絶境ニシテ。神仙天女ノ來遊
 スベキ處ナリ。昔此松原へ仙女アマクダリテ。羽衣
 ヌキ。松ノ枝ニカケテ。サラシラケルヲ。有度濱ノ漁
 人拾エテ。ユレヲ見ニ。カロクヤワラカナルコト。イフ



ハカリナシ。仙女キタリテ。尋^{タシ}モトムレドモナカリ
 シカバツイニ漁人^{ギヨシ}が家^{ノエ}ニユキテ。コヒモトムレ。フ
 カク納^{ヲサメ}テ。アタヘサレバ假^カニ漁人トチキリヲ。コメ
 ント説^{トキ}ヌレバ漁人ヨロコビ鴛鴦^{ウヅマツ}ノカタラヒヲナシ
 ニケリ。仙女ハツイニ羽衣^{ハユロモ}トリリカヘシ。夕^{ユフ}チマチ雲^{クモ}
 ニリテ。天^{アマ}ニホリタリ。漁人^{ギヨシ}モ後^{ノチ}ニ仙人ト成^{ナリ}
 テ。天上^{アマノウラ}スト云傳^{イハツタ}シ。

武藏野僧

西行撰集抄
鴨長明發心集

昔西行法師東國行脚ノ時武藏野ヲ見ントテ
 分入レケルガ四方ニテ州ノミレケリテ人モスマ
 ス草花イロクニ咲亂レテサナカラ錦ヲヒロゲタ
 ルコチシテ武藏野ノ行ドモ秋ノバテゾナキイカ
 ナル風ノ末ニ吹ラント口號テハルカニ行程ニ僅ニ
 一間計ナル菴アリ。上ニ六色々々ノ草花ヲ手折テ
 フキツ。年ノ程五十分カリニモヤナラントミユル僧
 案ニ法華經ニキナラヘテ入於深山思惟佛道ト
 云經ノ文ヲタフトキ聲シテヨミケリ。コレチニ入ヤ

ラント。方レク覺テチカクヨリ。委ク多ツ子トハハ
 僧ノ云ク我ハ郁芳門院ノ士ナリシガ女院ニラク
 レタテツリシ時世ノサダナキハカナサノ思ヒ
 シラレテ手ツカラモトトリ切テ住馴レ京ヲバ
 ハナレイテシヨリ。何ノツトメラスベシトモ思ヒサ
 タメサリシニアル說法ノミギリニゾミニテアリ
 レニ十方佛土中唯有一乘法無ニ亦無ニト説
 給ヒテ。一乘妙法ニスギテメテタキ法ナシトキ
 シユト。ゲニタフトク覺テ法華經ヲ讀タテマツ
 リテ。後世ノツトメトシタテツラント思ヒテ。カ

クヲコタラス。讀誦ツカマツルナリ。此野中ニ住テ。
ステニラクク年月ヲ送リヌレドモ讀誦ノ功力ニ
アリケン^{タケキ}猛ケタモノニモアヤマタレズ。又食物ナ
ド^{トキク}時々ニシキ童子ノ天ヨリクダリテ雪ノコトク
ニ白物ヲタビヌレバクハサルサキニ物ノホシクモナレ
トイヘリス。ステニ讀誦ノ仙人ニテリケルニヤ

陽勝^{マウセウ}仙人ガ童子ニ命シテ。笙ノ岩屋ニ籠リ
シ。法華^{ケトクシユ}讀誦ノ比丘ニアタヘシ白物ト。又ユ僧ニ
サツケラレシ物トハ一物ナラシカ。ウタカラクハ
甘露ノタクヒナルヘシ。木州綱目ノ甘露ノ註ニ拾

遺記^イヲ引テイハク。崑崙^{コンロン}之山有甘露。望之如
丹^{ノツトキハサタモクニスエチケケイ}著草木則皎瑩如雪。又陳藏器^{チンサウキ}方イハク。
甘露^{カンシ}氣味甘。大寒無毒。主治^{カシ}食之潤五臟^{ソラハ}。
長年不饑^ビ神仙^{サウ}ストアレバコレニテモアラシカ



七百歳 扶桑隱逸傳

七百歳ハ姓名ヲシラズ。又イツレノ郷ノ人トイフコ
 トモシラス常ニヤブレタル車ニリテ。四方ノチマタ
 ニ住ケリ。毎日道ノカタハラノ小兒トモ多アツマ
 リテ。彼カラモフ處ヘ引マワレリ。ヨリク物語スル
 ラ聞ニラヨソ七百年以來ノコトヲイヘリ。シカモ我
 其事ヲ現ニ見タリ。聞タリトイフ。是ニヨリテ人
 皆七百歳トハ名ケヌ。又ソノツ子ニヤブレタル車ニ
 ノリアリクヲモツテ。破車トモ呼ケリ。或年ノ一
 夏九十日間筑前ノ筥崎ニ行テ。松ノ樹ノ上ニラ

ホリテ坐禪サゼンシタリ。夏終ケナハリテ直翁チヨクウノ俣カトイヘル禪
 僧ゾウニアヘリ。直翁イハノ云ク。今度コト一夏ゲノ間アヒ樹上ジュニ坐
 禪ゼンスト。トコトナリヤイカシ。七百歳シヒヤクガイハク。トコト
 ニシカナリ。直翁チヨクウ又問トフ如何イカナルカ是樹上コレノ禪答コタヘ
 テイハク。樹上トキ樹下エタ時トキニ枝エタノ上ウヘニ蟻アリユイテ上下ス
 ト。直翁チヨクウユヒサシテイハク。這箇ココモマタヨク坐禪サス。
 七百歳シヒヤク笑ワラフテ。イテサリヌ後ノチニ髮カミヲ剃ソリテ。山階ヤマノノ
 山中ヤマノニイリテ。即深山スナチシ禪師ゼンシト。イシトナリ

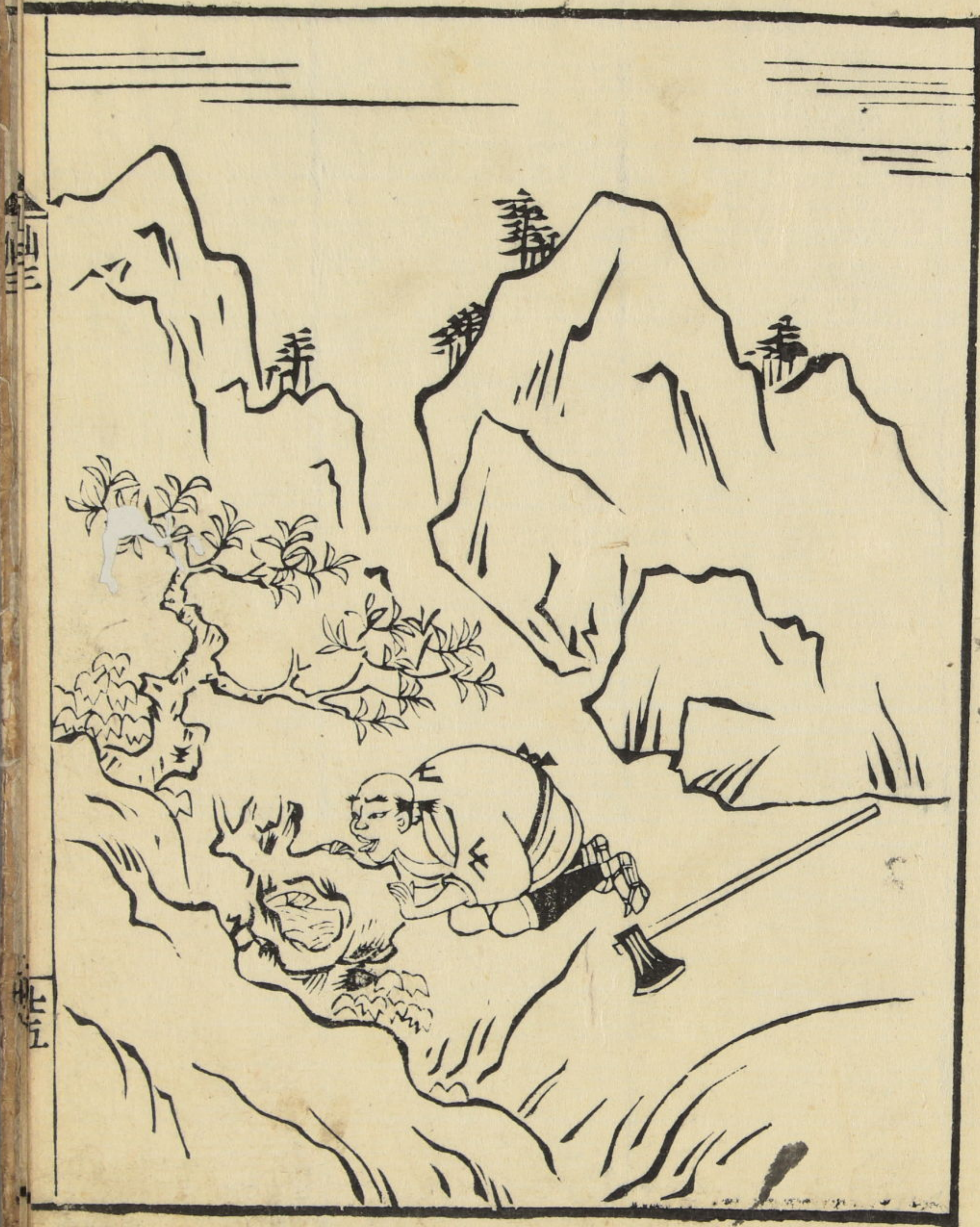


白比丘尼

神社考

若狭ノ州ニ白比丘尼トイヘルニアリソノ父ハシ
 人。或山中ニイリテ。仙人ニアヘリ。トモニアルトコロ
 ニツレタチユケハ。人間ヲヘタテシ。別ノ世界ナリ。仙
 人トキニ。一物ヲアタヘテイフヤウ。コレハコレ人魚
 ナリ。コレヲ食スレバ。命ヲノヘテ。老スト。父ウケテ家
 ニカヘリ。衣服ヲキカヘケルトキ。女ウケトリナラ
 ストテ。袖ノ裏ヨリ。人魚ノヲチタルヲ見テ。スナハ
 チトリテ。コレヲ喰ケルガ。ツイニ長生シテ。四百餘
 歳ノ壽ヲ得タリ。世ニコレヲ白比丘尼トイヘリ

神社考ニ。人魚ヲ肉芝カト評セリ。肉芝トハ
 千歳イキタルヒキカヘルコトナリ。ソレニハカシ
 ラ。角ヲ生シ。腹ニ丹色ナル文字ヲチハレリ。コ
 レヲツケテ。肉芝トイフナリ。ツ子ニ山中ノ
 精氣ヲクラヘルモノナリ。人若コレヲトリテ。食
 スレバ。仙人ニナルナリト。抱朴子トイフ書ニ
 テタルヲ。本草綱目ノ蟾蜍ノ註ニ引タリ。昔后
 羿トイフ人。西王母トイヘル仙女ニアフテ。長
 生不死ノ藥ヲ得テ。カヘリケルヲ。其妻嫦娥ト
 イフ者。ヒソカニヌスミトリ。コレヲ服シテ。ツイニ

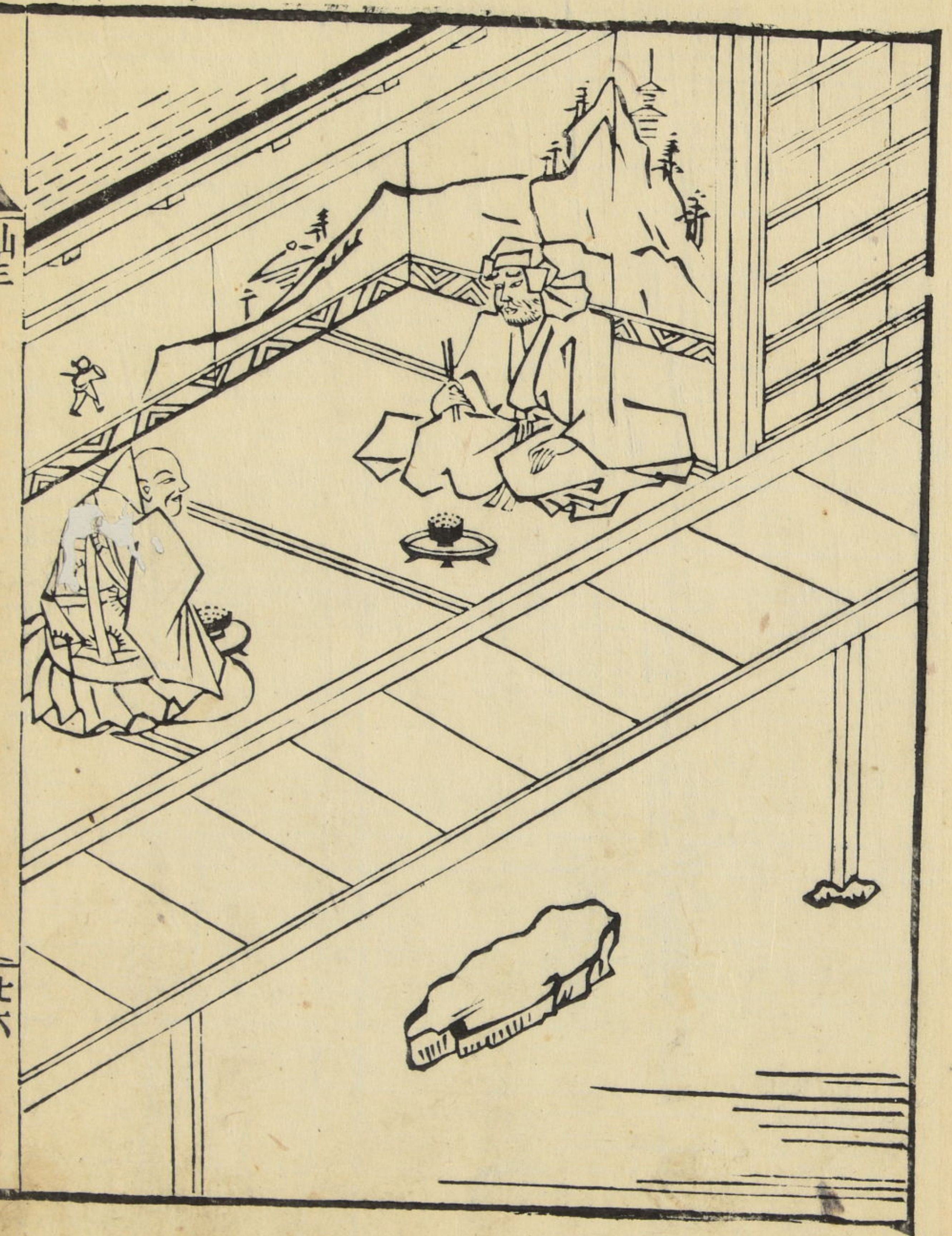


飛行自在ノ仙人トナリ。月宮殿ニ飛入レト。
 事文類聚前集卷之二三見ヘタリ。白比丘尼
 ガヒソカニトリテ食レタルモ嫦娥ニコトナラ
 ス

越前大男

神社考

越前ノ國ニ大男トイハシ者アリ。アル深山ニ入
 テ。木ヲコリケルトキ。咽ハナハダ渴テ。夕ヘサレトモ。
 チカキ。ホトリニ水ナケレバ。アチタコチタトスル處
 ニソノアタリノ大木ニ朽タル孔アリ。ソノクホミニ水
 ノタマリテ。アルヲ見テ。コレヲサイハイト悦ビ頭
 ヲウチタレテ吞ニ其味美ニシテ。イサキヨキコト。
 尋常ノ水トモ覺サリシガ。ソレヨリ終ニ長命
 ヲ得テ。數百歳ノ壽ヲ得タリシトナシ



山

大男

奥州殘夢

神社考

近比奥州ニ殘夢ト云者アリ。ミヅカラ或ハ又名
 ヲ呼白ト云。又秋風道人トイフ。其貌僧ニモア
 ラス。又俗ニモアラス。風儀ソノロナル體ナリ。アル
 トキイヘルハ。我一休ト友ナヒテ。ハレハリヨク。禪法
 ヲ聞テ。其肝要ヲ得タリト。又時々人ト。カタル
 ニ元曆文治年中ノ事ライヘリ。其時義經カマウ
 ナルコトヲナシ。辨慶カクコトヲナス。誰某ハナニ
 コトヲナシ。平家其時タレト。ソノ處ニテ。合戦シテ。
 勝負ヲナスナド。眼前ニ見聞タルモノノコトク語

アヘリ。叡山ノ天海大師ト。松雪トイフ者。殘夢ニ
 アフ。殘夢ツ子ニコラシテ。枸杞ノ飯ヲ食ス。天海モ
 是ニナラヒテ食スルニ。其壽百餘歳ヲ得タリ。人
 ニ語テ云ク。殘夢長生スルコトハ。物事ヲ急ニ止スツ
 子ニ枸杞ヲ服スルユヘナリ。大槩人ノ心ハ萬事意
 ニカセ。氣ヲワツラハサス。時ニレタカツテ。スミヤ
 カナルコトナク。緩々悠々タルコト。長命ノ相ト。語レ允
 或人殘夢ハ定テコレ。常陸房海尊ナラシトハ。天海
 聞テ。サモアラシト。イハレシトナリ。元曆ノ比ヨリ。
 天海ノ時代ニイタリテ。五百年ニチカシ

白箸翁ト。殘夢トハ伴狂ノ人ニシテ。徳ヲカクシ。
 光ラツメム者ナラシ。摩訶止觀ノ安忍ノ中ニ云
 若被名利毛繩當縮德露地隱實揚狂若尚不
 脫當一舉萬里絕域他方トケル此一人ノ上ニアル
 カ。兔角名利ノ關ヲ遁スル人ゾサ。狂人コトヨセ。
 或ハ愚癡ノ體ヲナス。ゾクヒ世ニ又スクナカラス寒
 山拾得ノ風顛ノトモガラ。増賀仁賀ノ伴狂ヤカラ
 ハ皆相ラモツテ。トルヘカラサルモノナリ。枸杞子ノ
 人ニ益アルコトハ。人皆シレル處ナリ。方ハアレ。凡
 其證タレカナラシメシガタメニ本草ノ功能ヲイサ、

カコニシルレヌ。枸杞子氣味苦寒。筋骨ヲ堅。不老
 風邪ヲソクキ。虚勞ヲ治シ。精氣ヲ補。心痛ヲヤメ。咽
 ノ渴ヲトメ。腎水ヲニシ。肺ヲ潤ス。油ニホリテ。燈ニ
 用ルトキハ。目ヲ明ニス。トナリ。唐王蓬萊縣ノ南丘
 村ト云處ニ枸杞ノ木ヲシ。高サ一ニ二丈。其根ワタカ
 一リ。ガツテ。甚カタシ。其里ノ人ニ長命ナル者ヲシ。
 コレソノ根ヨリ。ツタヘル水。土ノ氣ヲ服スルニヨリテ也。
 ト。本草綱目卷ノ卅六枸杞子ノ條下ニ見ヘタリ。ソノ
 根ヨリツタヘル水。サヘカク。如シ況ヤ。其子ヲ飯トナ
 シテ。食スルヲヤ。

本朝列仙傳卷之三終

